

5月といえば、嬉しいゴールデンウィーク。北海道では桜の季節となり、春をようやく感じられるようになりました。そこで今年も、市内にある桜の名所をご案内します。

札幌より地下鉄で3駅の中島公園駅。その中島公園内をお花見散策しました。まず中央付近に池があり、ボートに乗りながら花見ができる最高のシチュエーションでした。メイン通りでは、左右から桜がせり出していて、その中を歩くのは本当に気持ち良いものでした。こちらの公園は、昨年紹介した円山公園と違い火気厳禁、ジンギスカンバーベキューができないためか、若い道民は少ない感じでした。

また中島公園には、桜と並び人気の豊平館があります。明治13年に高級西洋ホテルとして開拓使が建造し、初めての利用者は明治天皇で格式がありました。当時、完全な西洋式ホテルは他にほとんどなかったそうです。当初の大通りの場所から、昭和33年に現在の中島公園内に移設され、道民憧れの結婚式場として人気を誇っていたようです。白と水色の色合いが美しく、まさにモダンという言葉がピッタリです。ぜひ一度ご覧になってください。現在は重要文化財に指定されていますので、入館料は必要です。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

穏やかで過ごしやすい季節となりました。今回は日本三大桜に数えられる『三春滝桜』に行ってみました。

桜の木としては初めて国の天然記念物に指定された名木です。皇居宮殿・正殿松の間の杉戸絵『櫻』(橋本明治画伯)や、赤坂サカス赤坂Bizタワー壁画『四季樹木図』(千住博画伯)が、滝桜をモデルに描かれたことでも知られています。

開花期には四方に伸びた枝から、薄紅色の小さな花を無数に咲かせます。その様がまさに流れ落ちる滝のように見えることから『滝桜』と呼ばれるようになったと言われています。また、三大桜としては、滝桜のほかにも、『根尾谷淡墨桜』(岐阜県本巣市)、『山高神代桜』(山梨県北杜市)があります。

当日は天候が悪く、今すぐにも雨が降り出しそうで、少し憂鬱な気持ちになっていました。しかし、滝桜を見た瞬間、圧巻の大きさと綺麗さで気持ちも晴れ、いつまでも見ていたいという気持ちになりました。季節限定の景色は気持ちを穏やかにさせてくれますね。

仙台営業所(所長:山田 義一)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



～赤い卵の贈り物～

外出先から戻ると、机の上には赤いパッケージに包まれた卵の贈り物。蘇州工場へ赴任し、約2ヶ月が経ちましたが、すでに2回ほど赤い卵をいただきました。

これは『紅雞蛋』と呼ばれ、中国では子供が産まれると、近しい人や職場の人たちに、赤色に包装したゆで卵やお菓子の詰め合わせを配る習慣があります。「あ、また社内の誰か、子供が産まれたんだ」と。

以前、私が赴任していた2012年までの社員もたくさん残っていますが、彼らはほとんど皆結婚しています。当時は年に何度も社員の結婚式に参加した記憶がありますが、最近では逆に出産ニュースが多いようです。

中国では数年前から『一人っ子政策』が廃止され、2人の子供を持つ家庭が非常に増えています。赤い卵の意味、由来を中国人社員に何人か聞いてみましたが「習慣だから…」と意外にもあまりよくわかりませんでした。1人の社員が調べてくれた一説によると『鶏』という字の発音と『吉』という字の発音が似ており、おめでたい吉報を赤い包装の卵に含めてお世話になった人に贈る、という意味だそうです。今月もまた赤い卵が届くかもしれません。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

久しぶりに銀座に立ち寄ったところ、思わぬ名前に思わずカメラを向けました。その名も『ユリ・ゲラー』さん。久しぶりに目にする名前ですが、何で宝石店のお祝いにお花を贈っていたのだろう??と思いつつ、さっと通り越しました。

銀座の歩行者天国をぶらぶらと、和光や三越に立ち寄りながら、GINZAシックスのテラスまで。広いテラスでは銀座通りを眺められ、中庭のようなところでは、読書やヘッドフォンで音楽を聴く人、水場で遊ぶ子供連れの家族など様々で、私も珈琲片手に腰掛けて一休み。その日は日差しが暖かかったのですが、珈琲を飲み干す間もなく風が強くなりました。結構肌寒くなってきて、薄着だったこともあり、一気にぐくぐく飲み干して、「寒っ」とつぶやきながらエレベーターへ向かいました。

そのあと、日産CROSSINGでコンセプトカーを見て帰りました。本当に飽きない街ですね。

東京営業所(所長:木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は名古屋市に隣接する愛知県長久手市にある長久手古戦場公園を紹介いたします。

皆様も学校の歴史の授業等で耳にしたことがあるかと思いますが、戦国時代に織田信長が本能寺の変で倒れ、後継者争いとして徳川家康と豊臣秀吉が戦った『小牧・長久手の戦い』。その戦場となったのが、長久手古戦場公園です。

現在、古戦場公園として整備されており、当時の面影はほとんどありません。公園内には、豊臣方の武将・池田恒興(つねおき)の戦死地をしるす勝入塚(しょうにゆうづか)がある程度です。ただ近隣には、血の池公園(名前が想像できますが…)や長久手城跡等があります。

また、現在の長久手市は名古屋市のベッドタウンということもあり、教育機関や商業施設等も多く、若年層を中心に活気ある住みやすい街として発展しつつあります。約430年前には、そのような大きな戦の場だったとはとても想像できませんね。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

大阪では2025年万博招致活動が行われています。1970年の大阪万博では、月の石を見る為に並んだ事をかすかに記憶しています。

大阪万博のシンボルといえば、皆様もご存知の通り『太陽の塔』ですよね。現在も万博記念公園に堂々と建っています。万博終了後、内部については立ち入り禁止で非公開となっておりましたが、今年3月にリニューアルし、内部公開となりました。

しかし、入場者数の制限があり、内部観覧には予約が必要になります。現在では、3~4ヶ月先まで埋まっている状況です。

私も日程を決め兼ねて予約すら出来ていませんが、万博記念公園近くのEXPOシティでは、太陽の塔の内部公開記念イベントやグッズ販売などで盛り上がっています。また、ららぽーとEXPOシティ内の吹田市観光協会では、太陽の塔のフィギュアやグッズなどの販売をしていて、海洋堂製作のリアルなフィギュアからマグカップなど多数販売しています。ららぽーと内にある別の雑貨屋さんでも、太陽の塔やそれ以外のEXPOグッズのコーナーがあり賑わっています。太陽の塔、このままシンボルとして残ってほしいですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

ダイエットを始めて3週間、少しの減量に成功しました。ですが、偏った食事をしてきたこともあり、体調を崩してしまう始末。無理な減量に少し反省をしている今日この頃です。

さて、先日久しぶりに釣りに行ってきました。いつもであれば、テント・寝袋・食材などを持ち込み行行のですが、「安くいい旅館があるよ。」と釣り仲間より情報もらったので、佐賀県呼子沖に浮かぶ馬渡島(まだらじま)へと、友人4人で尺アジを求め渡りました。

当日は天気も良く、絶好の釣り日和。昼には現地へ渡り、夕方のマヅメ(日没)前から竿を振り続けましたが、まったくアタリません。夕食時間が近づいてきたため、あえなく納竿です(泣)。4人中2人が初めての離島フィッシングで、大型アジの期待が大きかっただけに暗〜い雰囲気です。夕食をとり…就寝しました。

翌朝3時に起床。昨夕と同じポイントで竿を振り始めたところ、ポツポツと中型サイズのアジ・サバが釣れ始め、尺サイズも混ざり安心。陽が昇ってからも、赤カマス、黒ムツと十分に楽しむことができました。

お世話になった『民宿一福』はリーズナブルな上、夕食は海鮮料理と十分に離島を楽しむことができます。機会があれば是非行ってください。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

私はパンが大好きで、3年間ずっと朝食にパンを食べていました。最近、私は出張で台北を訪れた時、『汚いパン』という新しいトレンドのパンがあることを知りました。閉店前に売り切れになるお店がいくつかあるほどで、台北全域で非常に人気があることがわかります。

チョコレートが入った、至ってシンプルなパンですが、外側にはココアパウダーがかけられています。パンを噛むとココアパウダーが口の周りに付き汚く見えます。これが『汚いパン』と呼ばれる由来です。このパンを買うための、長蛇の列を見ることができます。一つ食べてみると、口の周りに付いたココアパウダーが面白く、まるで小さな子どものような様子でした。

数日間の出張からシンガポールに戻りました。どうやらシンガポールでも同じトレンドがあるようでした。あまり人気ではありませんが、多くのパン屋さんが『汚いパン』を販売しているようです。市場の動向は、すぐに他の市場に反映されます。地元の味や習慣に合わせて調整する必要がありますが、住民の間でヒットすることになるでしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダには、国王の誕生日である『キングスデー(国王の日)』と名づけられた祝日があります。この祝日の目的は、国を挙げてお祝いすることです。国王の誕生日は先月4月27日でした。この日は、オランダのほとんどの場所で、その地域住民が誕生日を祝うイベントが催されています。

また、毎年、国王はオランダの都市を選んで、その地域住民と誕生日を祝うために家族と一緒にいきます。今年は北部にあるフローニンゲンになりました。そのエリアに道が作られ、国王一家を一目見て、祝福するために地域住民が集まっていました。地域住民は、あらゆる種類の活動やこの地

域に関連する特別な名所をまとめてこの道を作っています。また、地域と国のために、多くの意味を持つ人々を迎えたり、人気のある建物や施設を訪れたりします。

そして、オランダの他の地域には委員会があります。それはオレンジ委員会と呼ばれ、ここには国王はいませんが国民のために活動やイベントの企画をしています。オレンジ色は国の色とされ、この日にオレンジ色の装飾と服装をしている人が多いのはそのためです。

このように、オランダ全土での素晴らしい出来事が毎年開催されます。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)

4月末よりアメリカに駐在となりました。板垣です。宜しくお願い致します。私自身、今回が2回目の駐在でアメリカは約10年ぶりとなります。久しぶりに戻ってきた印象としては、車が多いということでしょうか?新車販売台数は中国も多いのですが、保有台数で考えるとアメリカが世界一になります。

最近では、渋滞の緩和政策により、一部のカープールレーン(2人以上の乗車に限り特別レーンを使用できる)が有料となりました。ですが、そのほかの高速道路は基本的に無料です。降り口が多く、駐車場も広いので不自由さは感じられません。

また、アメリカには車検制度がないため、古い車も相変わらず健在です。国全体が車による移動手段を基に整備されているように感じます。広い国なので遠方へは飛行機が移動手段になりますが…

車以外に感じたことは、思ったよりも貧富の格差が広がっているように思いました。一部の富裕層にとっては色んなところで便利で、なんでも手に入れる事ができるような気がします。しかし、大勢の人々にとっては、ますます生活が厳しくなっているように感じます。現在、トランプ大統領が誕生して、国内のみならず世界全体にどのような影響があるのかはこれからを見守るしかありません。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

先月、連休を利用して友達と一緒に北スマトラ・メダンという町に行きました。飛行機で約2時間の距離です。10人以上の団体旅行、男ばかりです。

メダンはジャカルタに比べて、中国人がたくさん住んでいます。さらにメダン出身の中国人は商売が上手く、ジャカルタで商売に成功したことがよく知られています。

ジャカルタであまり見られない豚肉専門のレストランが結構あり、イスラム教の信者たちが行かないレストランです。念のため食事をするときはシーフードレストランか豚肉のないレストランを選んでいました。

さらにメダンではドリアンという果物が名物であり、ドリアンだけを販売している店にも行きました。いやあああ…ドリアンってにはおしいのですが、味はとて甘くて美味しいです。熟しすぎると甘さに少し苦味が入ります。場合によってはその甘さがアルコールのように酔うことがあるそうです。

友達は50歳以上のおじさんばかりなのに、よく超甘いドリアンを食べたな、とビックリしました。自分は3、4個食べて気持ち的にはもっと食べたかったのですが、やっぱり健康を考えて途中でやめました。と食べることをやめました。二日間の旅行で、だいぶ疲れていましたが、気晴らしに楽しく過ごせました。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)